

私立大学図書館協会東地区部会 2024 年度第 1 回役員会
議事要録

開催日：2024 年 4 月 19 日（金） 14：00～15：10

方 法：Web 会議（帝京大学）

出席校：部会長校 帝京大学（木村、饗場、川北、三谷、山内）
研究部担当理事校 専修大学（飯泉、中田、野村）
研修・会報担当理事校 国立音楽大学（柄田、森岡）
地区ブロック選出理事校 北海学園大学（河井）
理事校 立正大学（島田）
監事校 成蹊大学（寺西、小野）
陪 席：会長校 明治学院大学（鈴木）
次期部会長校 中央大学（高杉、工藤、佐藤）

※敬称略

配付資料：

- ・私立大学図書館協会東地区部会 2024 年度第 1 回役員会（以下「役員会資料」と記載）
- ・資料 1 2024 年度第 1 回常任幹事会資料
- ・資料 2-1 私立大学図書館協会東地区部会研究部の組織見直しについて（提案）
- ・資料 2-2 「私立大学図書館協会東地区部会研究部細則」改訂（案）
- ・資料 2-3 「私立大学図書館協会東地区部会役員校等選考に関する申し合わせ事項」改正（案）
- ・資料 3 私立大学図書館協会東地区歴代役員校一覧

議事に先立ち、部会長校帝京大学メディアライブラリーセンター館長の挨拶の後、出席者の自己紹介が行われた。議事進行は、部会長校帝京大学メディアライブラリーセンター館長木村友久が担当した。

議事：

[報告事項]

1. 東地区部会関係

- ・2023 年度東地区部会会務報告（2023 年 4 月～2024 年 3 月）
部会長校帝京大学より、役員会資料（p. 3-6）に基づき報告があった。
- ・2023 年度東地区部会研究部活動報告（2023 年 4 月～2024 年 3 月）
研究部担当理事校専修大学より、役員会資料（p. 7-11）に基づき報告があった。

2. 協会関係

2024 年度第 1 回常任幹事会報告

会長校明治学院大学より、2024 年 4 月 12 日（金）に開催された第 1 回常任幹事会について、

資料1に基づき報告があった。

昨年度から検討されている会則改正について、理事校数の記載と合わせて、会長校、部会長校の役割を定めた条項の追加、それに伴う順序の入れ替えを行った改正案を作成しており、最終的には今年度の第1回東西合同役員会で承認いただき、総会の審議事項に諮る予定であると説明があった。

[協議事項]

1. 2023年度東地区部会事業報告

部会長校帝京大学より、役員会資料(p.12)に基づき事業報告があり、承認された。

2. 2023年度東地区部会決算報告および監査報告

部会長校帝京大学より、役員会資料(p.14)に基づき決算報告があり、さらに監事校成蹊大学の監査を受け適正であると認められたとの報告があり、承認された。

3. 2023年度東地区部会研究部決算報告および監査報告

研究部担当理事校専修大学より、役員会資料(p.15)に基づき決算報告があり、さらに監事校成蹊大学の監査を受け適正であると認められたとの報告があり、承認された。

4. 2024年度東地区部会事業計画(案)および予算(案)

部会長校帝京大学より、役員会資料(p.16-17)に基づき以下の説明があり、事業計画(案)、予算(案)ともに承認された。

【予算(案)】

<収入の部>

- ・協会交付金：2024年度加盟校数268校分を計上。

<支出の部>

- ・管理職研修：隔年開催で2024年度実施。業務委託による実施のため見積額を計上。
- ・研究部交付金：2024年度研究部予算から2023年度研究部予算残金(繰越金)と雑収入を引いた金額4,293,418円を計上。

5. 2024年度東地区部会研究部活動計画(案)および予算(案)

研究部担当理事校専修大学より、役員会資料(p.18-19)に基づき以下の説明があり、事業計画(案)、予算(案)ともに承認された。

【研究部活動計画(案)】

- ・研究部の運営上の課題解決および業務効率化を目的とした組織見直しを行う。
- ・オンデマンド研修は、2024年度は「雑誌コース」のみ実施予定。

【予算(案)】

<収入の部>

- ・研修会参加費収入：2024年度は加盟校への還元や参加の促進を目的とし参加費無料として実施予定のため0円の予算案となっている。

＜支出の部＞

- ・研修事業委託費：委託するすべての研修を計上しており、4,386,000円となっている。
- ・運営委員会費：Microsoft365分を増額。その分予備費を減額している。
- ・昨年度より全体で1,000,000円程度増えているが、研修業務委託でこれまでサービスで対応いただいていたものを計上したことと、Microsoft365のアカウント数の増加（各委員と各大学で業務を行っている人数分を発行）が理由となっている。

6. 2023～2024年度東地区部会研究部運営委員および2024年度研修委員

研究部担当理事校専修大学より、役員会資料（p.20）に基づき以下の説明があり、承認された。

【2023～2024年度研究部運営委員】

成蹊大学の細本氏は、杉谷氏に交代。

7. 2024年度部会総会、館長会および研究講演会の開催（案）

部会長校帝京大学および研究部担当理事校専修大学より、役員会資料（p.21）に基づき、以下の説明があり、承認された。

- ・館長会テーマはオープンアクセス・オープンサイエンスを予定。
- ・研究講演会テーマはオープンサイエンス。文部科学省の林先生と文教大学の池内先生からご講演いただく予定。

8. 2025年度以降の東地区部会研究部の組織見直しについて

研究部担当理事校専修大学より、資料2に基づき、研究部の運営上の課題解決および業務効率化を目的として研修委員会を運営委員会に統合する組織見直しについて以下の説明があり、承認された。

- ・統合により各委員会の常任校となっている大学、研究部担当理事校の担当者減に加え、運営委員会としての担当者増により委員の担当業務の負担軽減を行う。
- ・研修委員会主催の研修会については、加盟校の要望を踏まえた上で、合理化していく方向で運営委員会の活動計画の中で改めて検討する。
- ・2024年度の研修委員のうち次々期研究部担当理事校からの選出分について、現在候補校が未定のため決まっていない。臨時対応として次期研究部担当理事校の大正大学から2年連続で選出いただいた。

[懇談事項]

1. 東地区部会役員校、総会当番校の選出について

部会長校帝京大学より、資料3に基づき、役員校をはじめとした候補校の選出について引き

続きご協力、ご提案いただきたいとの依頼があった。

2. その他

部会長校帝京大学より、協会会報の電子化について常任幹事会で懇談があり、東地区部会研究部報告書がすでに電子化を行っていることを受け、その経緯や懸念点などについて事前に専修大学、立正大学、国立音楽大学から状況を伺った内容を報告した旨、説明があった。これについて、会長校明治学院大学より、現在明確な方針が出ているわけではなく、今年度の協会会報作成にあたっては修正等を業者へ依頼し、会報作成担当の負担軽減を図り、その上で電子化に向けてどのような形で行っていくのか検討していきたいとの補足説明があった。

以上